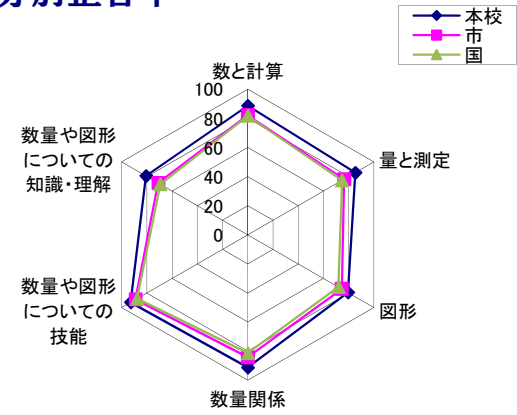


宇都宮市立海道小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

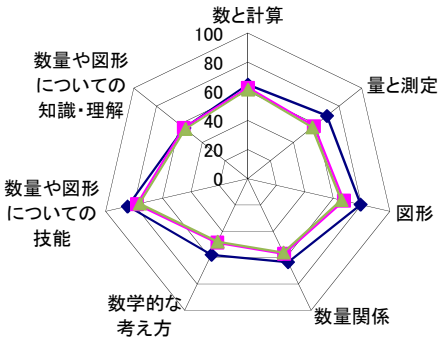
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	88.6	82.2	81.8
	量と測定	85.3	76.4	74.8
	図形	79.4	74.5	71.8
	数量関係	91.2	84.2	81.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	93.0	89.1	87.9
	数量や図形についての知識・理解	80.7	71.1	69.5



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	数と計算	64.7	62.6	61.3
	量と測定	69.4	58.0	56.5
	図形	79.4	67.5	65.7
	数量関係	63.5	57.1	56.2
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	57.8	48.6	47.8
	数量や図形についての技能	84.6	78.1	76.2
	数量や図形についての知識・理解	55.9	56.3	54.8



★算数に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○算数に関するほとんどの質問において、肯定的な回答の割合は全国平均と比べて高い。
○「算数の勉強は大切だと思う」と回答している児童の割合が100%と、算数の勉強の大切さを全員が理解している。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○A領域の平均正答率は88.6%で全国平均より6.8ポイント高い。 ⇒○四則計算に関する多くの設問で100%近い正答率を取っており、一定の成果が見られる。 ○B領域の平均正答率は64.7%で全国平均より3.4ポイント高い。	・繰り返し学習を行い、計算力を高める。 ・文章題に関しては、図や数直線などを活用して問題の意味をしっかりとらえさせてから解答を求めさせるようにする。
量と測定	○A領域の平均正答率は85.3%で全国平均より10.5ポイント高い。 ⇒○特に単位量当たりの大きさを求める設問の正答率が79.4%と全国平均よりも18.6ポイント高く、成果が見られる。 ○B領域の平均正答率は69.4%で全国平均より12.9ポイント高い。	・割合の学習では、数直線をかいて数量関係を捉えてから式を立てることの大切さを伝える。 ・いろいろな問題に取り組み、割合の意味と求め方を再度確認するとともに、理解させる。
図形	○A領域の平均正答率は79.4%で全国平均より7.6ポイント高い。 ○B領域の平均正答率は79.4%で全国平均より13.7ポイント高い。 ⇒○ABともに、正答率が80%近くに達しており、一定の成果が見られる。	・具体物を活用し、既習内容の図形の学習を確認し、図形の約束や性質の定着を図る。
数量関係	○A領域の平均正答率は91.2%で全国平均より9.9ポイント高い。 ⇒○四則の混合した式の意味について理解を問う設問の正答率が91.2%と全国平均よりも11.2ポイント高く、一定の成果が見られる。 ○B領域の平均正答率は63.5%で全国平均より7.3ポイント高い。	・文章題の意味が正しく読み取れないために立式されない場合も多く見られるので、文章題の意味を理解させるとともに、一斉指導や個別指導を通してスモールステップで定着を図っていく。